

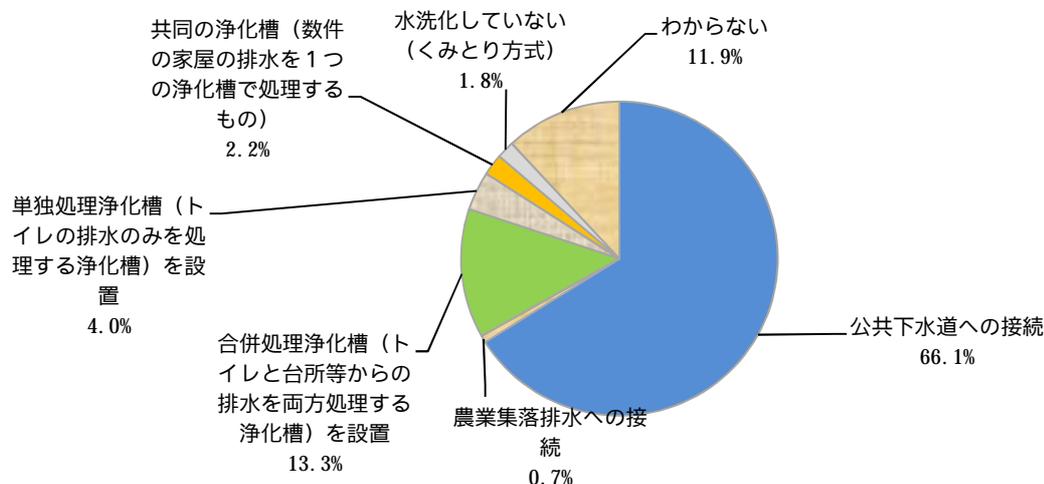
平成28年度まちづくりネットモニター第3回調査結果
 テーマ「郡山市の下水道について」

本市における下水道事業経営の参考及び汚水処理や雨水対策の整備方針に対する皆様のご意見を伺うため、アンケートを実施しましたので、その結果についてお知らせします。

- 調査期間 平成28年7月26日(火)～8月4日(木) (10日間)
- モニター数 328名 (男性 138名 女性 190名)
- 回答者数 278名 (男性 122名 女性 156名)
- 回答率 84.8%

問1 あなたのご家庭での生活排水などの汚水は、どのような方法で処理していますか？
 【1つ選択】
 ※公共下水道、農業集落排水へ接続されている方は「水道料金・下水道等料金のお知らせ」(2か月に1度の検針表)の下水道農集排使用料に内訳が記載されております。

選択肢	回答率
公共下水道への接続	66.1%
農業集落排水への接続	0.7%
合併処理浄化槽(トイレと台所等からの排水を両方処理する浄化槽)を設置	13.3%
単独処理浄化槽(トイレの排水のみを処理する浄化槽)を設置	4.0%
共同の浄化槽(数件の家屋の排水を1つの浄化槽で処理するもの)	2.2%
水洗化していない(くみとり方式)	1.8%
わからない	11.9%



【下水道部から】

汚水処理人口普及率は、平成27年度末で88.5%となっています。

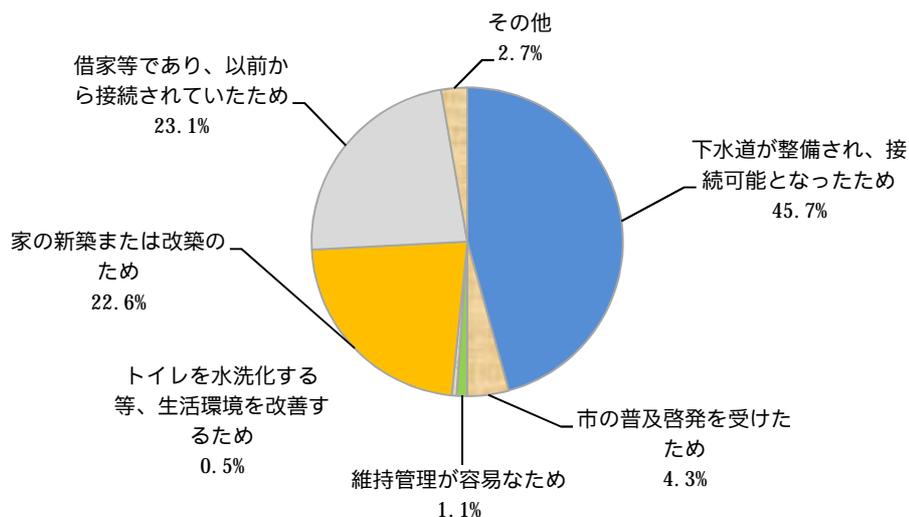
(※汚水処理人口普及率 = (下水道処理人口 + 農業集落排水事業等整備人口 + 合併処理浄化槽処理人口) / 住民基本台帳人口)

<http://www.city.koriyama.fukushima.jp/361000/jogesuido/suji.html>

問2 問1で「公共下水道への接続」、「農業集落排水への接続」を選択した方に伺います。

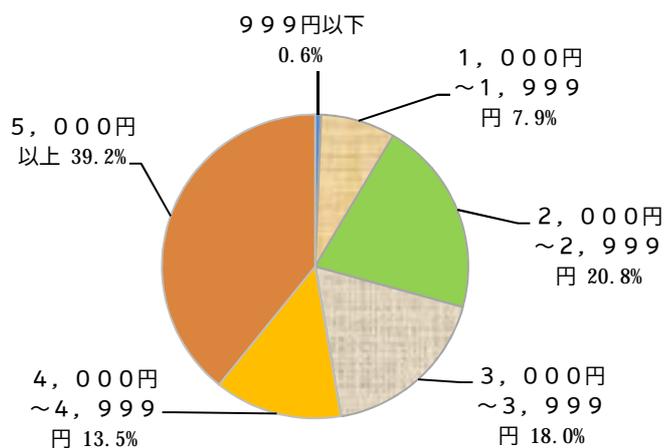
公共下水道または農業集落排水に接続された理由を教えてください。【1つ選択】

選択肢	回答率
下水道が整備され、接続可能となったため	45.7%
市の普及啓発を受けたため	4.3%
維持管理が容易なため	1.1%
トイレを水洗化する等、生活環境を改善するため	0.5%
家の新築または改築のため	22.6%
借家等であり、以前から接続されていたため	23.1%
その他	2.7%



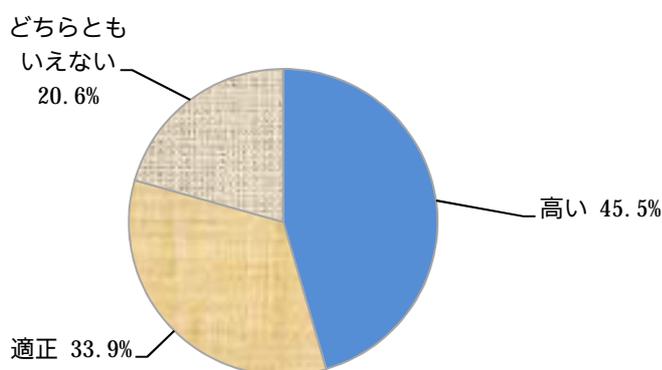
問3 問1で「公共下水道への接続」、「農業集落排水への接続」を選択した方に伺います。「水道料金・下水道等料金のお知らせ」に記載されている2か月当たりの使用料（水道料金を含まない）を教えてください。（一人あたりの金額）【1つ選択】

選択肢	回答率
999円以下	0.6%
1,000円～1,999円	7.9%
2,000円～2,999円	20.8%
3,000円～3,999円	18.0%
4,000円～4,999円	13.5%
5,000円以上	39.2%



問4 問1で「公共下水道への接続」、「農業集落排水への接続」を選択した方に伺います。下水道等使用料は汚水処理や維持管理の費用等に使用されており、学識経験者や有識者で構成される下水道等事業運営審議会にて提出された意見を参考に検討、決定しています。下水道事業はその下水道等使用料と、国の基準に基づき市費を繰り入れながら安定的で継続的な市民サービスの提供に努めております。それを踏まえ、問3で選択いただいた現在の下水道等使用料についてあなたの考えに一番近いものを選択し、その理由を教えてください。【1つ選択】

選択肢	回答率
高い	45.5%
適正	33.9%
安い	0.0%
どちらともいえない	20.6%



※高いを選択した方の理由

- ・以前住んでいた地域と比較して高かったため
- ・電気・ガスに比べて高い気がするため

※適正を選択した方の理由

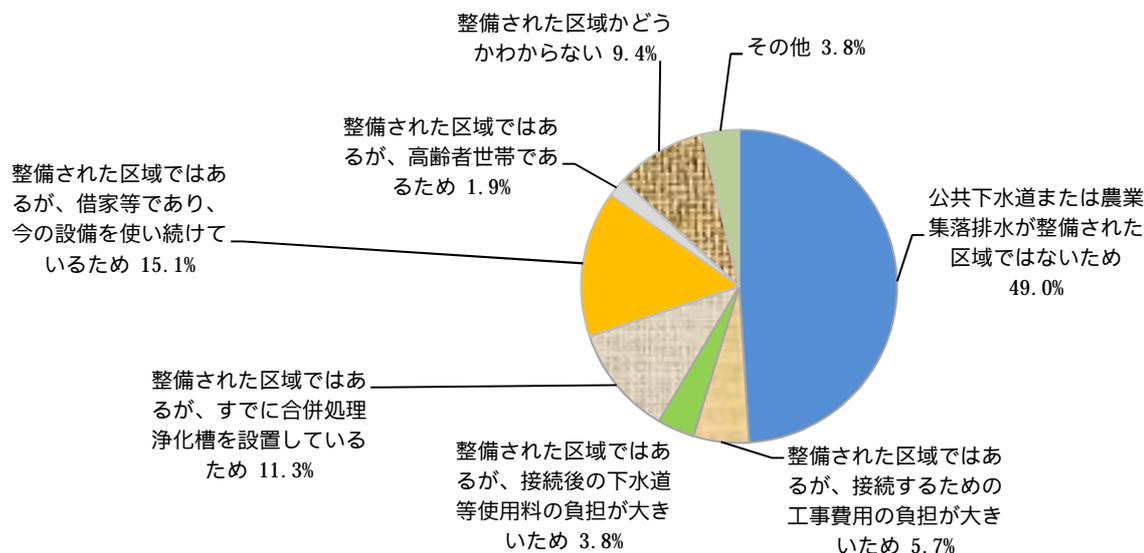
- ・下水道の維持管理を考えて適正だと思ったため
- ・二カ月間での請求と支払いになるので、一見すると高いイメージですが月割りと考えると適正だと思います

※どちらともいえないを選択した方の理由

- ・他と比べたことがないのでよくわからないため

問5 問1で「公共下水道への接続」、「農業集落排水への接続」以外を選択した方に伺います。公共下水道が整備され、下水道を使用することができるようになると、くみとりの場合には3年以内に、水洗トイレに改造しなければなりませんし、浄化槽を使用している場合には、公共下水道に流入させるために必要な排水設備を設置しなければなりません。それを踏まえ、公共下水道または農業集落排水に接続していない理由を教えてください。【1つ選択】

選択肢	回答率
公共下水道または農業集落排水が整備された区域ではないため	49.0%
整備された区域ではあるが、接続するための工事費用の負担が大きい	5.7%
整備された区域ではあるが、接続後の下水道等使用料の負担が大きい	3.8%
整備された区域ではあるが、すでに合併処理浄化槽を設置している	11.3%
整備された区域ではあるが、借家等であり、今の設備を使い続けている	15.1%
整備された区域ではあるが、家の改築、又は新築を考えている	0.0%
整備された区域ではあるが、高齢者世帯である	1.9%
整備された区域かどうか分からない	9.4%
その他	3.8%



【下水道部から】

市民の皆様が公共下水道又は農業集落排水への接続の改造工事を行う場合に、市が金融機関の利子を補給する「水洗便所改造資金融資あっせん制度」がありますので、接続の改造工事を行う際は、ぜひ本制度をご活用ください。

<https://www.city.koriyama.fukushima.jp/361000/jogesuido/suisenbenjo.html>

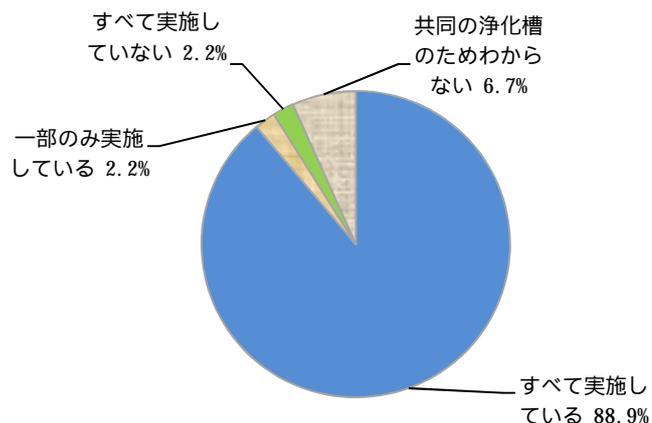
また、湖南地区においては、市の水道水源である猪苗代湖の水質保全を図るため、上記制度の他に、接続の改造工事を行う場合の工事費の一部を補助（工事費の10分の2で20万円以内）する「特定環境保全公共下水道接続補助金交付制度」がありますので、併せてご活用ください。

<https://www.city.koriyama.fukushima.jp/361000/jogesuido/setuzyokuhozyo.html>

なお、制度利用には条件等がありますので、事前に下水道総務課（電話924-2351）へお問い合わせください。

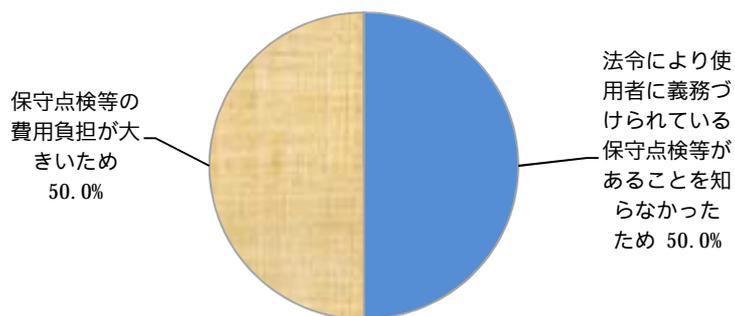
問6 問1で「合併処理浄化槽」、「単独処理浄化槽」を選択した方に伺います。浄化槽は法令で定められている保守点検や清掃等を行うことにより適正な機能を維持します。そのため、法令で「年3回以上の保守点検」、「年1回以上の清掃」及び「年1回の検査」が使用者に義務付けられていますが、「保守点検、清掃及び検査」（以下、保守点検等という）を実施していますか。【1つ選択】

選択肢	回答率
すべて実施している	88.9%
一部のみ実施している	2.2%
すべて実施していない	2.2%
共同の浄化槽のためわからない	6.7%



問7 問6で「一部のみ実施している」、「すべて実施していない」を選択した方に伺います。その理由を教えてください。【1つ選択】

選択肢	回答率
法令により使用者に義務づけられている保守点検等があることを知らなかったため	50.0%
保守点検等の費用負担が大きい	50.0%
保守点検等を実施している業者等がわからないため	0.0%
その他	0.0%



【下水道部から】

合併処理浄化槽は、し尿と生活雑排水（台所、風呂等の排水）を合わせて、下水道と同等の処理をすることができる設備ですが、定期的な維持管理を行うことで、初めてその性能が発揮されます。合併処理浄化槽の適正な維持管理を促進するため、「浄化槽維持管理補助制度」がありますのでご活用ください。

<http://www.city.koriyama.fukushima.jp/361000/jogesuido/kanrihi.html>

単独処理浄化槽は、し尿の処理のみで生活雑排水（台所、風呂等の排水）はそのまま排水されることから、市内外の水環境保全のため、単独処理浄化槽を利用している公共下水道又は農業集落排水区域にお住まいの方は公共下水道等への接続を、公共下水道又は農業集落排水区域外にお住まいの方は合併処理浄化槽への転換をお願いいたします。本市では、汲み取りトイレや単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換費用の補助を行っていますので、ご活用ください。

<http://www.city.koriyama.fukushima.jp/361000/jogesuido/setchihi.html>

なお、制度利用には条件等がありますので、事前に下水道総務課（電話924-2351）へお問い合わせください。

問8 快適な生活環境の確保のため、下水道整備や合併浄化槽の設置を進めるとともに、今まで整備した下水道施設の維持管理も行わなければなりません。このため市では事業の効率化等を図っておりますが、人口減少等社会情勢の影響で、下水道の使用量の増加は見込まれないと考えております。それを踏まえ今後の汚水処理施設整備についてまちづくりの観点からあなたの考えをお選びください。【1つ選択】

【公共下水道と合併浄化槽の比較】

(管理者)

公共下水道：行政（宅内におけるつまり等は個人管理）

合併浄化槽：設置者個人（衛生的な生活環境を維持するために、設置者個人が合併浄化槽を正しく維持管理しなければなりません。）

(個人の負担)

公共下水道：1 受益者負担金（1回のみ発生する費用）

2 下水道への接続費（宅内工事）

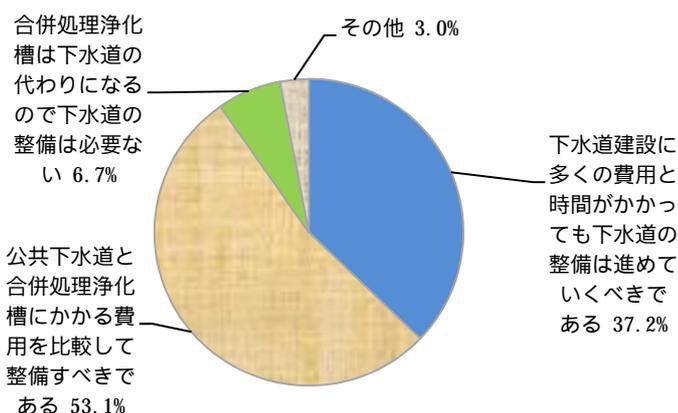
3 使用料

合併浄化槽：1 浄化槽設置費用

2 保守点検費、清掃費、定期検査費

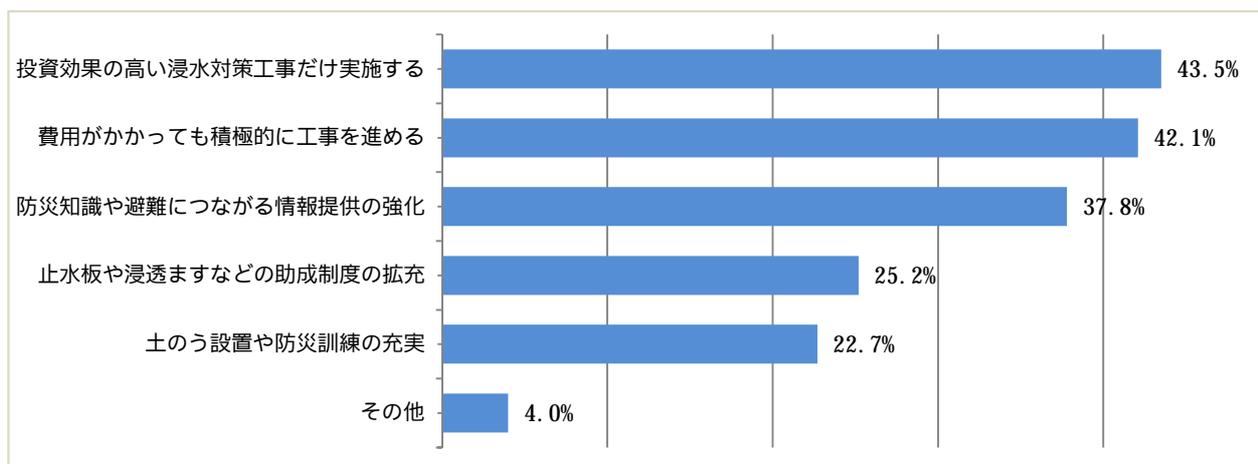
管理にかかる金額（公共下水道3と合併処理浄化槽2）は公共下水道と合併処理浄化槽で同程度です。

選択肢	回答率
下水道建設に多くの費用と時間がかかっても下水道の整備は進めていくべきである	37.2%
公共下水道と合併処理浄化槽にかかる費用を比較して整備すべきである	53.1%
合併処理浄化槽は下水道の代わりになるので下水道の整備は必要ない	6.7%
その他	3.0%



問9 近年、短時間の局所的な大雨、いわゆるゲリラ豪雨が多発し、市内各所で浸水被害が発生しています。この気象状況の中で、行政として取り組むべき浸水被害軽減対策について下記からお選びください。【複数選択可】

選択肢	回答率
投資効果の高い浸水対策工事だけ実施する	43.5%
費用がかかっても積極的に工事を進める	42.1%
防災知識や避難につながる情報提供の強化	37.8%
止水板や浸透ますなどの助成制度の拡充	25.2%
土のう設置や防災訓練の充実	22.7%
その他	4.0%



※「その他」を選択した方の意見

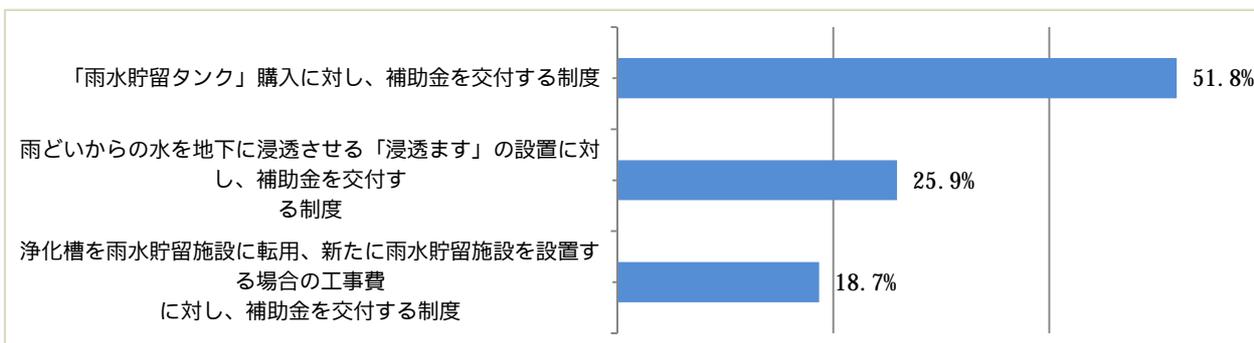
- ・市民の生命、生活に影響が考えられる場所は整備すべきだと思います
- ・浸水地域にこれ以上家を建てないように指導して欲しいです
- ・雨水の遊休地や透水対策を考えて欲しいです

【下水道部から】

郡山市では、集中豪雨等により多発している市街地の浸水被害を軽減するため、『郡山市ゲリラ豪雨対策9年プラン』を策定し、河川管理者及び下水道管理者における河川と下水道の整備に加え、住民（団体）や民間企業等の参画のもと、浸水被害の軽減を図る対策を実施しています。

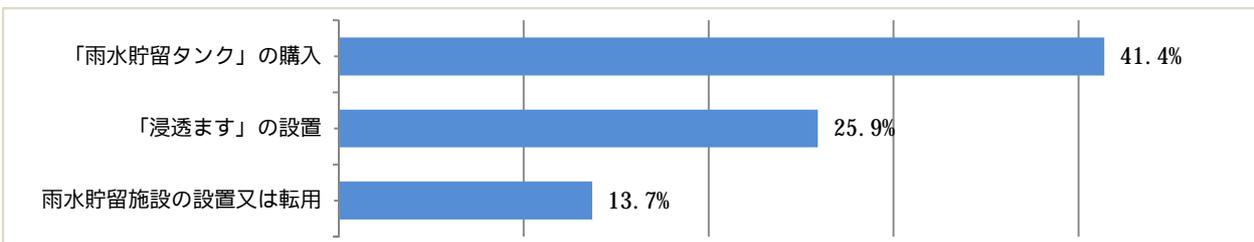
問10 市では大雨の被害を軽減させるため、雨水管等のインフラ整備を行っています。近年の短時間の局所的な大雨に対応するためには、住民一人一人が防災に対する意識を高め、自らの命と生活を守れるようにするという自助の考えも重要となってきております。このため市では、個人での浸水軽減対策として、地面に降った雨が一挙に下水道管に流れ込んで溢れさせないようにすること（雨水流出抑制）を目的とした助成制度を実施しています。あなたが知っている助成制度を下記からお選びください。【複数選択可】

選択肢	回答率
「雨水貯留タンク」購入に対し、補助金を交付する制度	51.8%
雨どいからの水を地下に浸透させる「浸透ます」の設置に対し、補助金を交付する制度	25.9%
浄化槽を雨水貯留施設に転用、新たに雨水貯留施設を設置する場合の工事費に対し、補助金を交付する制度	18.7%



問11 問10の助成制度について、あなたは利用又は検討したいですか。利用又は検討したいものがあれば下記からお選びください。【複数選択可】

選択肢	回答率
「雨水貯留タンク」の購入	41.4%
「浸透ます」の設置	25.9%
雨水貯留施設の設置又は転用	13.7%



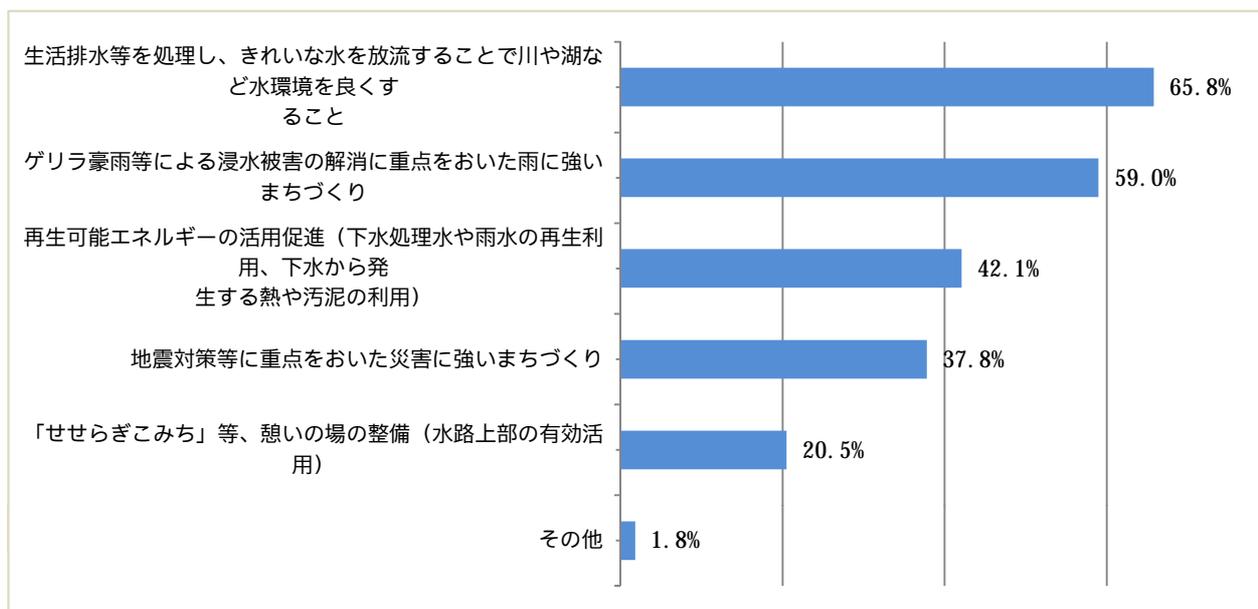
【下水道部から】

郡山市では、浸水被害の軽減及び良好な水環境の維持回復に向けた水資源の有効利用を図るため、「雨水貯留タンク」購入等への助成制度を実施しています。制度の利用にあたり条件等がありますので、事前に下水道維持課（電話924-2791）へお問い合わせください。

<https://www.city.koriyama.fukushima.jp/363000/jogesuido/usuihojyo.html>

問 1 2 郡山市の下水道事業について今後期待することをお選びください。【複数選択可】
 ※せせらぎこみち・・・地下部と地上部の二段水路となっており、地上部では水路と遊歩道が並列しており、気軽に水と親しむことができる。

選択肢	回答率
生活排水等処理し、きれいな水を放流することで川や湖など水環境を良くすること	65.8%
ゲリラ豪雨等による浸水被害の解消に重点をおいた雨に強いまちづくり	59.0%
再生可能エネルギーの活用促進（下水処理水や雨水の再生利用、下水から発生する熱や汚泥の利用）	42.1%
地震対策等に重点をおいた災害に強いまちづくり	37.8%
「せせらぎこみち」等、憩いの場の整備（水路上部の有効活用）	20.5%
その他	1.8%



問13 郡山市の下水道事業について、ご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。【自由記述】

※主な自由意見

- 起債を発行してでも、下水道管の整備、更新を計るべきだと思います。中・長期的計画を示し、更新による短絡的な上下水道料金の値上げなどは、避けるべきです。
- 環境を考えて、下水道の整備を進めることは大切だと思います。
- 下水道の請求を2ヶ月毎から、毎月にしてほしいです。また、クレジットカード引き落としも選択出来るようにしてほしいです。
- 公共下水道は快適な生活を送るうえで欠かせない設備なのでそれにかかる費用負担はやむを得ないと思います。わかりやすく市民に周知したら理解が得られるのではないのでしょうか。
- 郡山市内でもまだ浄化槽の地域も多くあると思います。浄化槽は匂いも気になるので下水道が整備されればいいのにとおもいます。
- 最近のゲリラ豪雨は、以前には予測できなかった現象です。対応すべく、改善の余地は沢山あるので、専門的に対策をお願いしたいと思います。
- ゲリラ豪雨が発生すると、冠水してしまう道路が何か所かあり危険だと思います。対策をとっていただきたいです。
- 今回雨水を地下に浸透させる浸透ますなどをつくる場合に補助金などがでるという事がはじめてわかりました。市政ニュースなどでお知らせして頂ければと思います。
- 義務教育の段階で住んでいる地域の防災マップを定期的に学習する時間を設けるべきだと思います。
- 浄水場の見学ツアーに参加しました。下水道においても下水工事現場や下水処理場のツアーがあれば参加したいです。

【下水道部から】

この度は、「郡山市の下水道について」のまちづくりネットモニターにご協力いただきありがとうございました。貴重なご意見を参考としながら、今後とも市民の皆様が安心・安全で快適な暮らしができるよう、より良いサービスの提供に努めて参りますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。